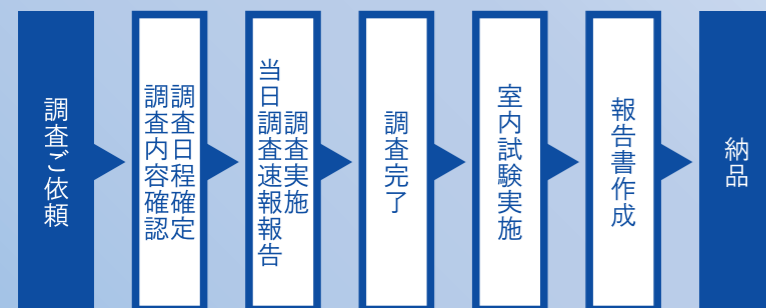


対応可能試験一覧

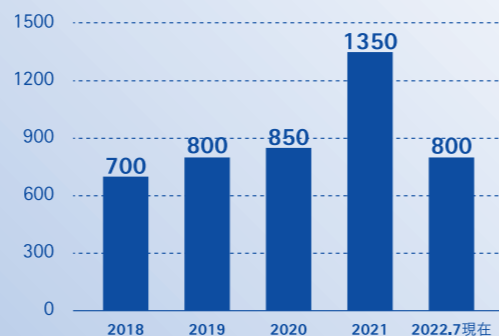
	試験名称	試験結果	主な利用法	備考
物理試験	土粒子の密度試験	土粒子の密度 ps(g/cm <sup>3</sup> )	土質の判断 他の試験値の計算	一般の土質試験では「物理一式」と称されます。土の判別、分類のためにも、また土を総合的に判断するために欠かせない重要な試験になります。
	含水比試験	含水比 W(%)	土の状態判断 他の試験値の計算	
	粒度分布試験 (フルイ)	粒経加積曲線	粒度分布の良否 透水性の推定	
	粒度分布試験 (沈降)		土の分類 材料としての判定	
	液性限界試験	液性限界 WL(%)	土の分類 土の安定性判定 材料としての判定 変形、塑性の判定	
	塑性限界試験	液性限界 WP(%)		
	湿潤密度試験	湿潤密度 pt(g/cm <sup>3</sup> )	土被り圧 土の分類	
力学試験	圧密試験	圧密係数 Cv(cm/d)	沈下量の計算 沈下に要する 時間の計算	これらを「力学試験」と称し、工学的検討の際には重要な要素となる数値を提供します。目的によって使い分けることが必要になり、調査の目的によって専門技術者の判断を要します。力学試験の結果から地盤の支持力や沈下特性が計算され、斜面の安定性の検討や地盤改良の必要性と方法、基礎形式の決定と基礎の支持力などが算定されます。
		圧縮指数 Cc		
		圧密降伏応力 Pc(kN/m <sup>2</sup> )		
		体積圧縮係数 mV(m <sup>3</sup> /kN)		
	一軸圧縮試験	一軸圧縮強さ qu(kN/m <sup>2</sup> )	地盤の支持力	
三軸圧縮試験	粘着力 c(kN/m <sup>2</sup> )	地盤の支持力 摩擦力の算定		
	内部摩擦角 φ(°)			

上記の他、水平方向地盤反力係数(KH)が得られる「孔内水平載荷試験」・「透水試験」等さまざまな試験に対応しておりますのでご相談下さい。

調査フロー例



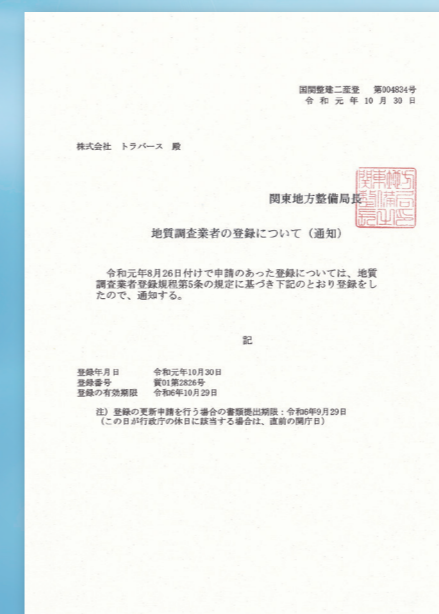
ボーリング調査実績件数



# ボーリング調査 Ver.2 (標準貫入試験)

Boring exploration (standard penetration test)

自社開発試験機にて  
安全性の向上  
作業効率大幅向上を実現!!  
屋内・狭小地でも  
調査対応します!



地質調査業登録 質01第2826号



ご連絡・お問い合わせ先



本社 千葉県市川市末広2-4-10  
TEL 047-359-4111 FAX 047-359-4115  
<http://www.travers.co.jp>

ご注意とお願い 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害については責任を負いかねますのでご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので最新情報は上記担当部署にお問い合わせください。本工法の提供は株式会社トラバースとなっています。

# やぐらを使用しない安全且つ高効率、 狭小地や屋内でも調査可能のマシンを開発!



## 4 自社試験実施により、コストと納期・日程を削減! 現地サンプリング土の土質試験はお任せ下さい!

土の分類や強さなど、現地地盤調査では把握出来ない土の工学的な性状を、室内試験で求めます。物理的性質・力学的性質・化学的性質を求める試験各種を、本社建物内に設けた試験室で実施します。建物基礎詳細設計には欠かせない試験です。弊社はボーリング調査や地盤改良、杭施工をしている会社で、同時に御依頼頂ける場合は、お値打ちに承ります。

1 自社開発したマシンが安全・効率を大幅UP、他社には無い半自動化も実現!

2 調査班数の増加を実現し、ご希望日程での調査実施を目指します!

3 SWS調査で培った自社システムを使い迅速な報告書作成を実現!



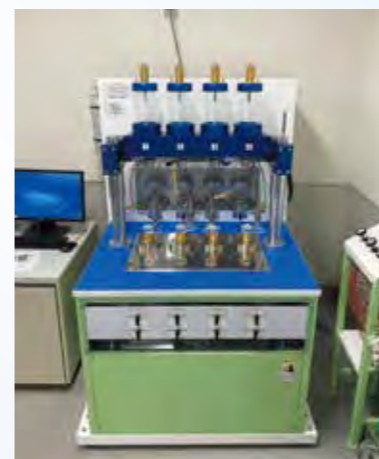
調査事例1



調査事例2



一軸圧縮試験



三軸圧縮試験機



一面せん断試験機



圧密試験機

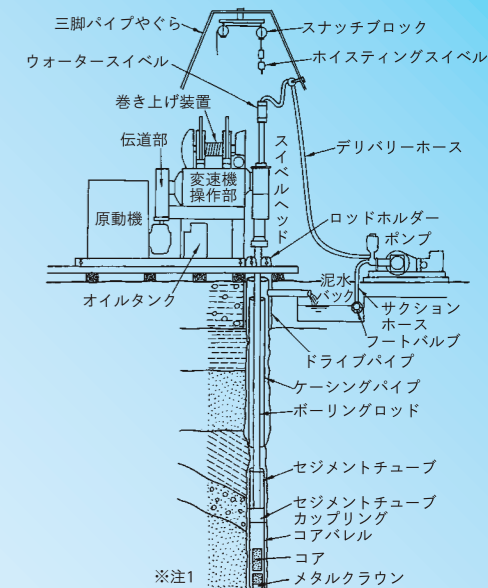


試験室状況1



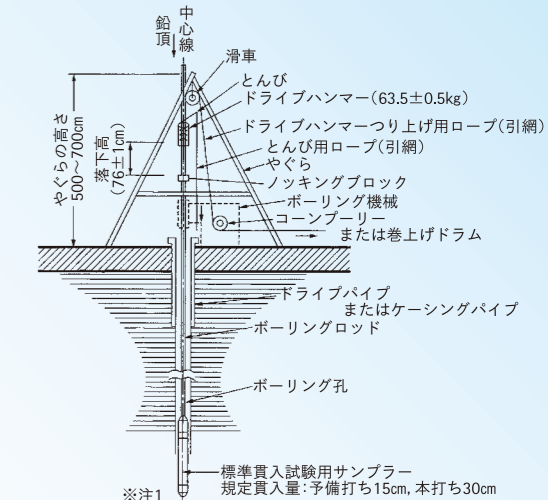
試験室状況2

### ボーリング調査とは



土木・建築構造物の設計・施工では、それらに必要な地盤情報を得ることを目的として、ボーリングが行われます。また、地質観察や室内試験に供する試料の採取を目的にサンプリングが行われます。ボーリングは、一般的にロータリー式ボーリングが利用され、サンプリングは固定ピストン式シンウォールサンプラーの他、二・三重管などの多重管サンプラーが利用されています。

### 標準貫入試験とは



地盤の固さを調べる地盤調査法の一つ。重さ63.5kgの重錘を75cm自由落下させ、標準貫入試験用サンプラーを打撃し、サンプラーが30cm地盤に貫入されるまでに要した打撃回数から地盤の固さを調べる。土質試料を採取できるので細かな土質判定ができる。大規模な構造物を建設する際、一般的に広く用いられる地盤調査法。調査結果は、支持層の判定・土層区分などに利用される。

※注1 社団法人地盤工学会「地盤調査の方法と解説」から引用